

重油タンク 溢水対策

〔平成28年12月完了〕

■ 平成28年12月、大規模地震により重油タンク※が損傷しても広範囲に重油が流出することがないように、耐震性のある溢水防止壁を設置しました。

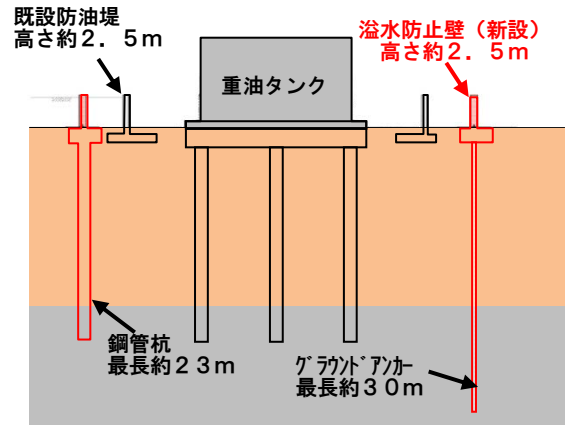
※ 900kL×3基。発電所内に設置しているボイラーの燃料として使用し、発生した蒸気は発電所の空調、水タンクの加温等に用います。

○施工内容

高い耐震性を確保するため、溢水防止壁の基礎となる鋼管杭およびグラウンドアンカーを岩盤まで打ち込んでいます。



重油タンク



施行断面図（イメージ）

非常用ろ過水タンクの設置

〔平成29年3月完了〕

■ 平成29年3月、事故時に原子炉や燃料プールへ注水するための水源として、更なる多重性・多様性を持たせるために非常用ろ過水タンク（2,500m<sup>3</sup>×1基）を設置しました。

○原子炉および燃料プールへの注水源

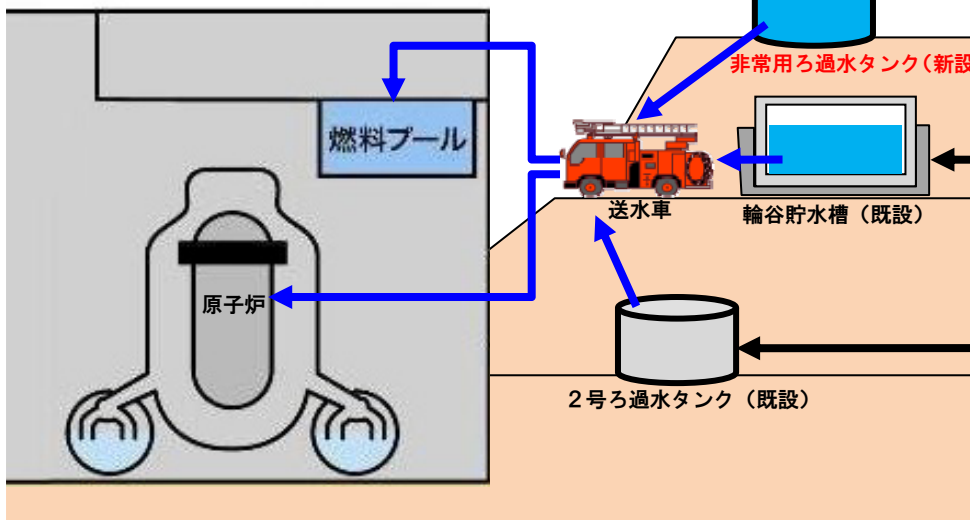
万が一、原子炉や燃料プールに注水が必要となった事態に備え、発電所では様々な水源を確保しています。

発電所構内の水源（例）

非常用ろ過水タンク	2,500m <sup>3</sup> ×1基
2号ろ過水タンク	3,000m <sup>3</sup> ×1基
輪谷貯水槽	10,000m <sup>3</sup> ×2槽



非常用ろ過水タンク



輪谷貯水槽×2槽



2号ろ過水タンク×1基